



2021年11月11日

各位

会社名 株式会社富士山マガジンサービス  
代表者名 代表取締役社長 西野 伸一郎  
(コード：3138、東証マザーズ)  
問合せ先 取締役経営管理グループ長 佐藤 鉄平  
(TEL. 03-5459-7076)

### 2021年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年11月11日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年2月12日に開示した2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

(単位：百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,750	300	300	200	60円32銭
今回修正予想 (B)	5,750	430	430	275	82円94銭
増減額 (B-A)	0	130	130	75	—
増減率 (%)	0.00%	43.3%	43.3%	37.5%	—
(参考) 前期実績 (2021年12月期)	5,144	323	324	214	68円68銭

#### 2. 修正の理由

当連結会計年度においては、利益率の低い電子雑誌取次事業の連結売上高における貢献度の拡大、配送請負事業の収益性の悪化、マーケティング費用の増加、新規事業等のための採

用費、人件費増加等を想定し、連結予算を作成しておりましたが、

①主にマーケティング費用について、新規受注獲得よりもコスト最優先での費用投下に努めたことで費用発生を抑えることができたこと、

②子会社である株式会社 magaport が手掛ける雑誌読み放題向けの電子雑誌取次事業が好調に推移したこと、

③子会社である株式会社アイデアが手掛ける出版社向け EC 支援事業において新規受託店舗を中心に業績が拡大したことから、期初予想で開示した親会社株主に帰属する当期純利益に対し、30%以上の上振れが発生することが明らかとなりました。したがって 2021 年 12 月期連結業績予想を修正いたします。

なお、新型コロナウイルスの再流行による業績への影響、緊急事態宣言が解除されたことによる新型コロナウイルスによる活動自粛解除の影響等により、さらに業績予想を見直す必要が発生した場合には速やかに開示を行います。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上